

答弁指定事項進捗状況調書

平成29年12月	議員名	小久保 重孝		
	担当部	教育部	担当課	学校教育課
質問年月日	平成29年12月11日			
質問事項	次期伊達市教育振興基本計画について			
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>策定委員会の中で、(教育の指針を立てるにあたって)子供たちの進路の追跡調査(高校、大学等、就職先)をすべきではないかとのやりとりの中で検討してみたいとあったが、検討するのか。また特別支援の必要な子たちへの対応も追跡調査をすることで、最適な対策が考えられるのではないかという点もあったが、どのように考えているか。</p>				
<p><b>【答弁要旨】</b> <span style="float: right;"><b>【答弁者：教育部参与】</b></span></p> <p>市内の高等学校とは進路状況についての情報共有がなされている。課題は室蘭や札幌など市外に通うお子様の調査かと思う。特別支援教育については、幼保との連携は図られているが、今後は幼保小中連携協議会等を立ち上げ、高校の先生にも入っていただいて幼稚園から高校までの一貫した教育のあり方について検討していきたい。</p>				
<b>【対応・進捗状況】</b>	<input checked="" type="checkbox"/> <b>対応済</b> (令和元年10月1日)	<input type="checkbox"/> 対応中	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 実施不可
<p>■令和元年10月1日現在</p> <p>特別な支援を要する生徒の高等養護学校等進学以降の進路状況に関しましては、個人情報もあり、詳細の把握までは難しいものの、これまでどおり、特別支援教育推進委員会や個別に各道立校と連携を図り、情報共有を図って参ります。</p> <p>市内の高等学校に進学した生徒の進路状況については、現状情報共有がされておりますので、今後も継続して参ります。</p> <p>幼保小中高の連携に関しましては、特別支援教育推進委員会や児童生徒の引継ぎ等において、卒業後の進路のほか、現在の児童生徒の状況や個別の支援及び指導内容の共有等、連携を図ることとしております。</p>				

答弁指定事項進捗状況調書

平成29年12月	議員名	小久保 重孝		
	担当部	経済環境部	担当課	商工観光課
質問年月日	平成29年12月11日			
質問事項	小型風力発電の規制について			
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>稀府地区における小型風力発電建設を契機として、市として住民と事業者とのトラブルが起こらないためにも、できれば条例、せめてガイドラインを設けて、計画を届けさせるなど、容易に建設ができないようにすべきではないか。</p>				
<p><b>【答弁要旨】</b> <span style="float: right;"><b>【答弁者：市長・経済環境部長】</b></span></p> <p>市長・・・私としては(住民からの建設反対の請願に対する)議会の判断を受けて、きちっと国に対して今のガイドラインの遵守を国が事業者に指導するように求めている。</p> <p>経済環境部長・・・伊達市として何らかの基準は設けていく必要はあるのかなと感じている。</p>				
<b>【対応・進捗状況】</b>	<b>対応済</b> (平成30年6月15日)	対応中	検討中	実施不可
<p>■平成30年9月25日現在</p> <p>○国に「小型風力発電設備の適切な事業実施」について、次のとおり要望活動を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要望先：北海道経済産業局（資源エネルギー環境部長対応）</li> <li>・実施日：平成30年2月19日（月）</li> <li>・訪問者：伊達市長、伊達市議会議長、伊達市連合自治会協議会長 （随行：議会事務局長、商工観光課長）</li> <li>・要望概要：住民の安全確保、生活環境の保全等のため、発電事業者に対する国のガイドラインの遵守、指導の徹底を要望</li> </ul> <p>○小型風力発電事業に係る本市の基準については、以下に記載の手続きを経て、「伊達市小型風力発電設備の設置及び運用の基準に関するガイドライン」を策定し、6月15日付けで施行しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年4月23日（月）～5月22日（火）パブリックコメントの実施</li> <li>・ 〃 4月24日（火）市連合自治会協議会理事会で情報提供</li> <li>・ 〃 6月15日（金）市議会全員協議会で説明</li> </ul>				

答弁指定事項進捗状況調書

平成29年12月	議員名	洞口 雅章		
	担当部	経済環境部	担当課	商工観光課
質問年月日	平成29年12月12日			
質問事項	食を通じたまちおこしについて			
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>来月の食育センター稼働を機に、地産地消推進計画等をつくり生産者・事業者・市民と協働で取り組むことは、地域経済の活性化・健康増進、食育に繋がると考える。</p> <p>特に地産地消に取り組む飲食店に対し、地産地消認証店制度を設けてはどうか。</p>				
<p><b>【答弁要旨】</b> <span style="float: right;"><b>【答弁者：市長】</b></span></p> <p>認証というのは非常に難しく、どうすべきなのかこれから検討をしていきたいと思います。東京商工会議所から市町村が自分のところの認証をするのが一番ベターだという話を聞いた。ベジファースト参加店を含めどのようにやればいいのか、伊達商工会議所と協議しながらやっていきたい。</p>				
<b>【対応・進捗状況】</b>	対応済（平成 年 月 日）	対応中	検討中	実施不可
<p>■令和元年10月11日現在</p> <p>地産地消認証店制度については、ベジファースト事業を実施している伊達商工会議所と協議しましたが、参加飲食店の増加や市民意識の向上により地産地消が推進されている一方で、期間中のメニュー作成や飲食店の負担等が課題としてでてきており、今年度「伊達野菜もぎたてベジフェスタ」の関係者の方からのご意見では、牛や豚などの肉類とは異なり、野菜メインでの新たなメニュー開発には相当なご苦労があるとのご意見をいただいたところであります。</p> <p>特産品の伊達野菜の消費拡大は、市民の健康増進の観点からも必要であるとの認識に変わりはありませんが、野菜を中心とする地産地消認証制度の導入効果は現段階では見込めないため、導入についても難しいものと考えております。</p> <p><b>【参考】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベジファースト事業参加飲食店</li> </ul> <p>平成28年度：13店舗 → 平成29年度：16店舗 → 平成30年度：16店舗 → 令和元年度：12店舗</p>				